株主・投資家の皆さまへ

コーポレートガバナンスの強化や適時・適切な情報開示などにより、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション体制向上に努めています。

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション

大真空グループでは、株主総会を株主の皆さまと直接意見交換ができる建設的な対話の場であることを認識し、株主総会における 権利行使に係る適切な環境の整備に努めています。また、機関投資家や証券アナリストの皆さまと、当社グループの経営成績や経営

方針・事業戦略を共有し、理解をより深めていただきたく、決算説明会を開催、個別取材 にも積極的に対応し、継続的なコミュニケーションを図っています。

また、迅速かつ公平な情報開示に努めており、決算説明会資料やFACT BOOKなどの財務資料、適時開示資料をホームページ(URL: https://www.kds.info/investors/)に掲載しています。

今後も株主・投資家の皆さまの当社グループへの理解を深めていただけるよう、努めてまいります。



トピックス

10年長期経営計画「OCEAN+2戦略」がスタート

2019年11月3日の創業60周年を機に、当社では初めてとなる10年長期経営計画「OCEAN+2戦略」を策定し、2020年4月よりスタートしました。「OCEAN+2戦略」はレッドオーシャンから脱却し、戦略性を大切にした活動を徹底、競争優位性に優れた製品開発をベースに安定的な高利益体質「ブルーオーシャン」を目指します。

「OCEAN+2 戦略」の7つの基本戦略

One : Arkh.3Gの薄型化を武器にした「一社供給」

Cost : Arkh新シリーズの世界最安直材費による「低コスト域への挑戦」 Element: 育成/研磨技術を活かしたウェハ販売による「材料ビジネス」 Alliance: オープンイノベーション/コラボレーションによる「共創」

Niche : ニッチな市場で安定的な利益を確保する「残存者利益」

+1:新たな結晶の育成に挑戦する「新たな結晶」

+2 : 新しい要素技術の確立による価値創造を目指す「新たなデバイス」





また、長期計画は3つのフェーズに分かれており、それぞれにマイルストーンを設定しています。既存品やArkh.3Gのビジネスを継続しながら、「第一中期 基盤整備」として各種準備を完了させ、「第二中期 基盤確立」のフェーズでは材料ビジネスを軌道に乗せ、コラボレーションや新たな結晶ビジネスを開始、「第三中期 成長発展」の最終フェーズではこれらの戦略を成長/発展させてまいります。

IT化の推進や機能の分化/集約、業務プロセス改善によって販管費を抑制、既存ビジネスで粗利プラスアルファを確保しながら「OCEAN+2戦略」により利益を創出することで、「社員全員が瞳を輝かせながら、エレクトロニクス社会の発展を支え、社会から必要とされる企業」を目指すとともに、サスティナブル社会へ貢献してまいります。

地域社会とのかかわり

社会貢献活動やコミュニケーション活動を通じて地域社会と信頼の絆を深め、これからも皆さまに愛される企業を目指します。

タイ山間部での支援活動



HARMONY ELECTRONICS (THAILAND) CO.,LTD. 多家動

HARMONY ELECTRONICS (THAILAND) CO.,LTD.では、「社会から得た利益は社会に還元する」の精神のもと、企業と地域のそれぞれの発展を目指し、数年前から年に1回ではありますが、タイ山間部で助けが必要な家庭に食べ物や生活用品などを寄付しています。

山間部で生活している家庭では物資を得ることが難しく、子供が知識を身につけるための本や文房具なども不足しています。そこで、社内でさまざまな物資を持ち寄り、山間部への寄付を始めました。当日は、食事を作り住民の方々とコミュニケーションを深め、その後、持ち寄った物資を贈ります。一緒に過ごす時間は長くはありませんが、住民の方々が笑顔になると、この活動をしていて良かったと心より感じます。

地域の方々とのコミュニケーションをとる機会は限られているため、このような活動が当社と地域の方々との貴重なコミュニケーションの場であることを認識し、その一瞬一瞬を大切にするとともに、今後も社員一同、CSRの意識を高め、地域社会へ貢献し続けてまいります。



県立鴨島支援学校サンタクロース訪問

徳島事業所では毎年12月上旬に徳島県立鴨島支援学校へ「サンタクロース訪問」をしています。この取り組みは18年前から継続しており、今では当社の取り組みとして地域に定着しています。支援学校の生徒の皆さんも毎年心待ちにしていただいており、継続してきて良かったと、大変うれしく思っています。



当日は低学年のクリスマス会に合わせて訪問し、生徒と一緒に歌を歌ったりお遊戯をしたりしてコミュニケーションを図ります。高学年・中等部は授業中にサプライズとして教室に訪問し、サンタに扮した社員が生徒一人ひとりに手渡しでプレゼントを渡していきます。

この取り組みは徳島事業所の伝統だけではなく、鴨島支援学校の伝統にもなっています。地域の皆さまとの触れ合う機会を途切れさせることなく次の世代へつなげていく、そんな使命感をもって今後も取り組みを継続してまいります。



徳島事業所 尾田 賢治

21 DAISHINKU CSR REPORT 2020 DAISHINKU CSR REPORT 2020